

保護者各位

帝塚山中学校・高等学校
帝塚山学園本部事務局 施設課

第2グラウンドにおける雷検知システム（雷レーダー） の運用開始について

1. はじめに

帝塚山学園では、生徒の安全確保を最優先に、学園前キャンパス第2グラウンドの避雷対策改修工事を実施し、このたび「雷検知システム（雷レーダー）」の運用を開始いたしました。

本工事は、令和7年4月に発生した落雷事故を受けて設置した調査委員会の提言に基づき、再発防止と安全対策の一層の強化を図るために実施したものです。

2. 整備内容

今回の避雷対策改修工事では、次の2つの対策を実施しました。

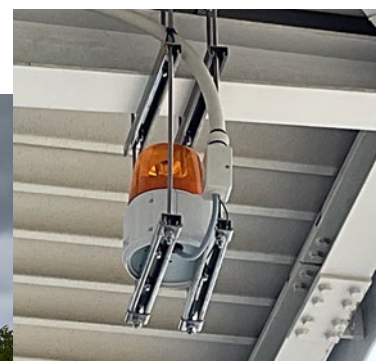
- ・避雷針を増設し、落雷から保護できる範囲を拡大
- ・雷の危険を早期に知らせる「雷検知システム（雷レーダー）」を導入

これにより、これまで以上に迅速な避難判断と安全確保が可能となります。

3. 雷レーダーとは

雷レーダーは、周辺地域の雷雲の状況や大気中の静電界強度を監視するシステムです。雷発生の危険が高まると、第2グラウンドに設置されたパトライト（警報灯）が回転してお知らせします。なお、パトライトは、雷発生の危険がなくなった後も、安全確保のため一定時間（約20分間）回転を続けます。

従来は空模様や雷鳴など、目視や体感に頼る部分もありましたが、本システムの導入により、客観的な基準に基づいて避難を判断できるようになります。



4. パトライト（警報灯）が回転したときの対応

パトライトが回転した場合、学校では次のとおり対応します。

- ・部活動や体育の授業など、屋外での活動を直ちに中止します。
- ・生徒を速やかにスタンド（避難場所）へ避難させます。
- ・パトライトの回転が停止するまで待機します。
- ・回転停止後、安全を確認したうえで活動を再開します。

なお、下校時にパトライトが回転している場合は、今後の気象状況を踏まえて適切に判断し、指示いたします。

5. 学校の安全管理について

学校では、雷検知システム（雷レーダー）による警報だけでなく、次の情報も踏まえて監督者が総合的に判断し、生徒の安全を最優先に対応いたします。

- ・気象庁が発表する雷注意報などの気象情報
- ・気象庁の「雷ナウキャスト」などの雷の観測・予測情報
- ・実際の空模様や雷鳴・雷光の状況

また、教職員への周知・研修を行い、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制を整えております。

6. おわりに

本校および帝塚山学園では、今後も事故の再発防止と安全対策の一層の充実に取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、本校の安全対策にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上